

新年のご挨拶を申し上げます



七ヶ宿町長
梅津 輝雄

新年おめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いでの輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政運営につきましまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、衆議院議員選挙の結果を受けまして、民主党へ政権が交代いたしました。このことによりまして、今までの国と地方の関係に変化があり、混乱する場面が多々見られました。民主党が掲げております、「国と地方は対等」な関係を取り戻す、地方の意見要望を早く実現し、地方の振興に尽力していただくたいと願うところであります。

平成20年度から実施して参りました「元気な地域づくり交付金事業」も各地区で計画書が完成しまして、地区の自主的な話し合いの中で事業が実施されてきており、大変心強く思っております。引き続き「みんな考え、進めていく気運づくり」を目指して参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

しくお願ひ申し上げます。さて、本町におきましては、第4次七ヶ宿町総合計画が、平成21年度で終了することから、新しい計画、第5次七ヶ宿町長期総合計画「だれもがだいすきな水守の郷しちかしゆく」を制定いたしました。新しい時代をしつかり見定め、夢と感動のある発見・想像力のある町民主体のまちづくりを進め、町民の皆さんとともに学び、考えてだれもがだいすきな水守の郷づくりに挑戦して参ります。

この計画策定に当たりましては、多くの町民の皆様から、ご意見、ご提言をいただきまして感謝とお礼を申し上げます。計画を現実していくためには、行政改革を推進して集中と選択を行いまして、地域づくりやまちづくりを実現して参りたいと考えております。

具体的には、「くらす」、「まもる」、「まなぶ」を中心に、住民参加、基幹産業の育成、情報通信網の整備、少子高齢化対策、学校・社会教育の充実等の施策を進めて参ります。これらの施策を実施し、住民一人ひとりがこの町に住んでよかつたと思えるまちづくりを目指して頑張つて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。とともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りしまして、新年のあいさつといたします。



七ヶ宿町議会議長
山村 文吾

新年おめでとうございます。年頭にあたり、議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、ここからお慶び申し上げます。

また、日頃の議会活動に対し、ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の8月30日の衆議院選挙で、55年ぶりの政権交代がありました。百年に一度と呼ばれた世界的大不況が怪しく影を落とすなか、時代のうねりのような力強い流れを実感いたしました。国民の安全安心を願う変革への渴望と高まりを表していたのかもしれません。新政権は、事業刷新会議をとおして「事業仕分け」という全く新しい政治手法で、予算策定過程を国民に見せ

てくれました。

当町においては、昨年12月定例会において、「第5次七ヶ宿町長期総合計画」を可決いたしました。新しい町の未来像が示されたのです。計画は、町民を10年後の約束の地へといざなうものです。これは住民の未来への「契約の書」でもあります。互いに助け合い、ともに学びながら歩もうというのです。この計画書は、待ち受ける困難を乗り越え、希望の標となることを願うところです。七ヶ宿湖のように、町民の思いを満々と湛え、願いや思いを映し出すことが出来たなら、きつとすばらしい未来が、そこに待っているにちがいありません。希望こそが、われわれを導く灯りそのものです。

町民皆様の益々のご健勝とご多幸と、そして最良の年でありますことをお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。



地域づくり

横川もちつき交流会を開催

12月19日に、横川集落センターでもちつき交流会が開催されました。

この催しは、横川地域づくり委員会と横川長老地区子ども会の共催で行われた事業です。

交流会のきっかけは、地域づくり委員会での話し合い。「昔はお祭りのたびに餅をついた」「餅を食べるのが楽しみだった、楽しかった」という意見が出ました。「それでは現在の地域の行事の際



▲子ども達も注目、できあがり待ち遠しい

に、餅をついてみんなで食べたら楽しいんじゃないか」と話になり、臼と杵を今年度の元気な地域づくり交付金で購入しました。PTA代表の地域づくり委員からも「もちつきは親の世代だけではなかなか難しい。ぜひ地域づくり委員会のみなさんにもお手伝いをお願いしたい」ということで話がまとまりました。

子ども達もおじいちゃんおばあちゃん、熟練のわざと慣れた手つきでできあがった餅を見て大喜びし、お腹いっぱい食べていました。もちつきをとおして世代間の交流が図られた楽しい1日となりました。



▲みんないただきます！

長老地区地域づくり計画書完成

峠田地区、滑津地区、干蒲地区、横川地区に続き長老地区でも地域づくり計画書が完成しました。

長老地区では計画書のまとめを地区委員のみで行い、12月5日に地区住民に対する報告会を開催、承認されました。その後、役場の地区担当職員への報告会が12月9日に行われました。

報告会では市川勝四委員長から「31回委員会を開催したと思う。計画書は完成したがこれからが大事、計画を進めて行けるよう頑張りましたよ



▲町職員への報告会

う。」とのあいさつではじまり、その後各担当ごとに内容を説明しました。46ページに及ぶ内容は地区住民のみならずが委員会で話し合った内容であふれていました。

報告会の後には今後の進め方が議論されました。

12月8日に行われた長老地区伝達講習会では地区の生活改善推進員の方を中心に調理実習が行われ、地区計画書で「長老の歴史とともに語り継ぐ事」を目標にしている「いもすりだんご汁」が調理され参加者全員で食されました。参加した町内の栄養士さんからは早速給食に出したいという感想が聞かれました。



▲「いもすりだんご汁」調理中